

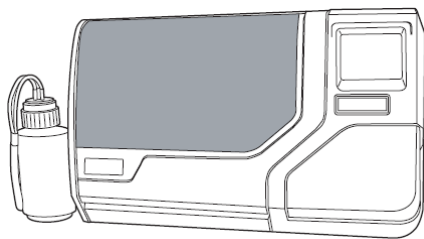
****【警告】**

- ・動作中に可動部に触れ、巻き込まれないように充分注意すること。
- ・スライドガラスは先端が鋭利な上、保管パッケージ内や装置上で破損することがあるので、スライドガラスを取扱う際、本品を清掃する際には十分に注意すること。
- ・気化アルコールにより、火災が発生する恐れがあるので、引火性のあるものは近づけないこと。
- ・本品に使用するバイアル(プレザープサイト液)はメタノールを含有しているため、適切な保護具の着用と換気等の作業環境を整えた場所で作業すること。
- ・安全性および取り扱いに関する指示については、安全データシート(SDS)を参照すること。

【形状・構造及び原理等】

本品は、病理検査の細胞診断に用いられる塗抹標本を作製するものです。

プロセッサ本体



廃液ボトル

外形寸法と重量

プロセッサ本体:高さ 102cm × 幅 102cm × 奥行 92cm (開扉時)

重量 84kg

廃液ボトル :高さ 43cm × 直径 15cm

電氣的定格

交流・直流の別	交流
定格電圧	100-120V, 2A
周波数	47-63Hz
消費電力	200W (200VA)

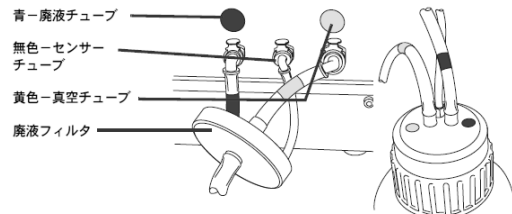
原理

検体が含まれているプレザープサイト液バイアルを、分散ウェル内で回転させることで、バイアル内の溶液が攪拌され、細胞が分散します。細胞が分散したプレザープサイト液バイアルにトランスサイトフィルタを入れ、吸引することで、細胞がトランスサイトフィルタのフィルタ部に付着します。細胞の回収は液の流速を監視するソフトウェアが制御するため、最適な細胞がフィルタ部に付着します。細胞がフィルタ部に付着した後、トランスサイトフィルタを反転させ、フィルタの上方に設置されたスライドガラスにフィルタ部を押しつけることで、フィルタ部に均一に分布して付着していた細胞がスライドガラスに移行し、塗抹標本が作製されます。

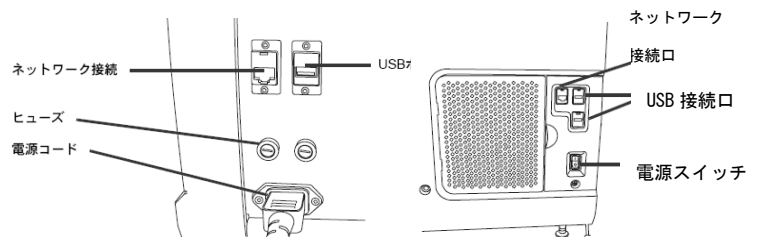
【使用目的又は効果】

病理検査の細胞診の塗抹標本を作製する。

****【使用方法等】**



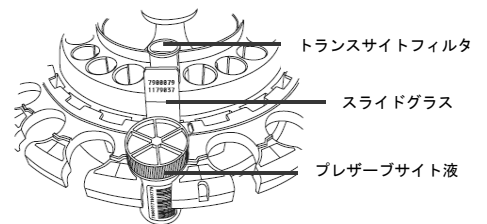
廃液ボトルをプロセッサ本体と同じ高さか低い場所に置き、キャップをしっかりとしてください。キャップから出ている廃液チューブ、真空チューブ、センサーチューブを、プロセッサの背面に接続します。



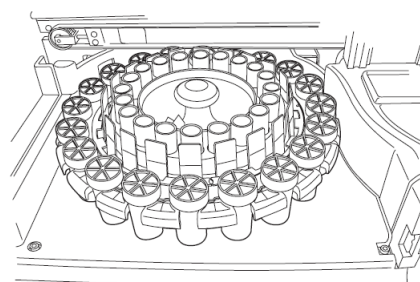
背面にある差込口に電源コードを

挿入し、扉が全て閉まっていることを確認し電源スイッチを入れます。システムが立ち上がり、メインの画面がタッチスクリーンに表示され、使用出来る状態になるとロゴが表示されます。圧カタンクに圧力がかかり、アーム、カルーセル等が作動し定位置に移動し、ドアのロックが解除されます。

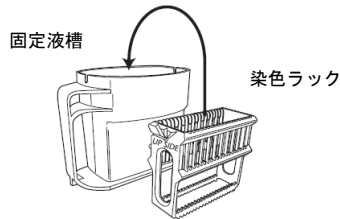
検体の入ったプレザープサイト液、スライドガラス、トランスサイトフィルタを図のようにカルーセルにセットします。



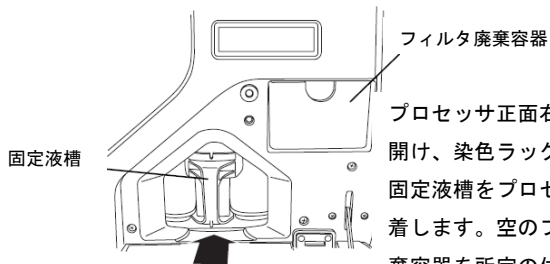
検体の採取方法、前処理については取扱説明書を参照してください。



フィルタ、スライドガラス、バイアル(プレザープサイト液)をセットしたカルーセルをプロセッサに装着します。



空の固定液槽に固定液を所定の位置まで入れ、染色ラックの向きを確認し、染色ラックを固定液槽に入れます。



プロセッサ正面右下の扉を開け、染色ラックを入れた固定液槽をプロセッサに装着します。空のフィルタ廃棄容器を所定の位置に入れ扉を閉めます。

扉を全て閉じ、タッチスクリーンを使って操作を開始します。詳細は取扱説明書(ThinPrep5000 プロセッサ オペレータマニュアル)を参照してください。

- 1) 「Start」ボタンを押すと、操作扉と固定液槽/フィルタ廃棄容器ボックス扉が音とともにロックされ、プロセッサが自動的に操作を開始します。
- 2) 処理中の操作を中断したい場合は、「Pause」ボタンを押します。
- 3) 一連の操作が完了すると画面に「Batch Complete」が表示されます。「Batch Report」のボタンを押すとレポートが表示されます。
- 4) 操作終了後、スライドガラスは固定液槽に、トランスサイトフィルタはフィルタ廃棄容器に移動しています。固定液槽をプロセッサから取出して染色ラックを固定液槽から外します。
また、カルーセルをプロセッサから取り外しバイアル(プレザーブサイト液)を外し、廃棄容器のフィルタを廃棄します。

**【使用上の注意】

- 本品の使用前に取扱説明書(ThinPrep5000 プロセッサ オペレータマニュアル)を必ず読んでください。
- フィルタは一回限り使用し、再使用しないでください。
- ThinPrep5000 プロセッサには、プレザーブサイト液以外の検体採取・保存液を使用しないでください。
- 最良のスライド作成結果を得る為に、処理検体に合った正しいタイプのスライドガラスとプレザーブサイト液バイアルを使用してください。
- フィルタ廃液容器は空にして操作を開始してください。
- 固定液の気化アルコールにより、火災が発生しないように注意してください。
- 本装置に付属の電源コードは本装置以外には使用できません。
- 接地コンセントは本品を安全に稼働させるため、3極接地コンセントを使用し、電源ユニットから取り外す際は、電源コードを抜くこと。

**【保管方法及び有効期間等】

トランスサイトフィルタの有効期間は2年です。
プレザーブサイト液及びサイトライト液の有効期間は2年です。
貯蔵方法として、過度の熱、発火源から離れた場所で15～30℃で保管します。容器のふたを閉じ、衝撃から保護してください。

【保守・点検に係る事項】

- 取扱説明書(ThinPrep5000 プロセッサ オペレータマニュアル)に記載のとおり、定期的メンテナンスを行ってください。
- 毎日廃液ボトルを点検し、液面が容器の「最大(MAX)」マークに達する前に空にします。適時廃液ボトルは空にして下さい。
- バッチ毎にフィルタ廃棄容器は空にして下さい。
- 固定液は毎日、または100スライド毎に交換してください。
- 必要に応じ吸収パッドを交換して下さい。
- 零受けは取り外して適宜きれいにして下さい。
- 取扱説明書に記載されていない保守・点検に係る事項については、販売業者にお問い合わせください。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

* 製造販売業者:

ホロジックジャパン株式会社

TEL 03-5804-2340

外国製造業者:

ホロジック社 (米国)

Hologic, Inc.